

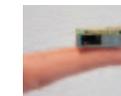
決算期日	11月30日
定時株主総会	2月
基準日	11月30日
	その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
公告掲載新聞	日本経済新聞
証券コード	6664 (JASDAQ)
名義書換代理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番2号
同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番2号 東京証券代行株式会社本店
電話照会先	(03) 3212-4611 (代表) 0120-49-7009 (フリーダイヤル)
同取次所	東京証券代行株式会社営業所及び各取次所

ホームページアドレス <http://home.opto.co.jp>

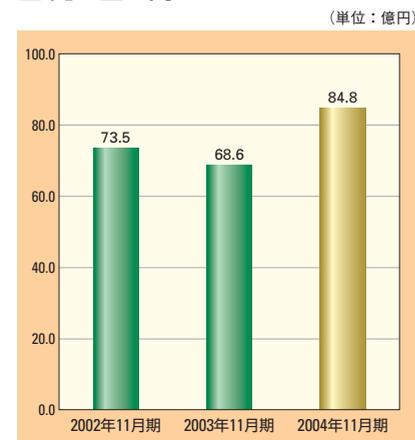


第29期 事業報告書

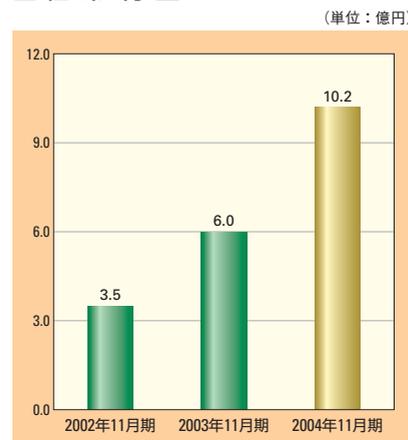
平成15年12月1日～平成16年11月30日



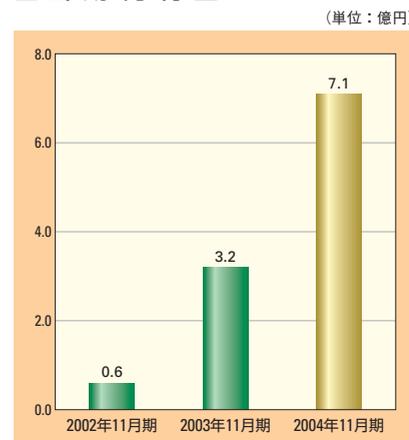
■ 売上高



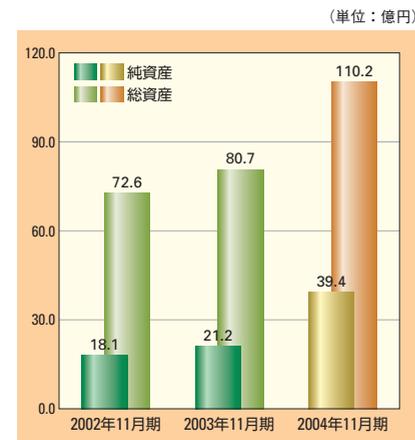
■ 経常利益



■ 当期純利益



■ 純資産 / 総資産



■ 株主資本当期純利益率(ROE)



■ 1株当たり当期純利益(EPS)



当社はバーコードリーダ製品を主力に、独自の戦略に基づいて経営を行っております。これまでは、当社の基本戦略である開発力の強化と海外拠点の拡大を優先することで、会社の基礎固めを続けてまいりました。開発力は推進力として、海外拠点の拡大は発展力として、それぞれの役割を果たしております。

近年、バーコード・マーケットは、全世界で再び大きな技術革新を強く求められております。

その要求は物流、流通、医療など広範囲で起きており、さらに新しい分野においても、バーコードの採用を積極的に始めており、次世代への技術要求が非常に高まっております。

その一例をあげますと、自動販売機に2次元スキャナを組み込み、現金を使用なくとも、携帯電話で商品が購入できるようになりました。(4ページをご参照下さい。)

これは、お金を電子化する流れから派生した需要で、新しく大きな成長が見込まれます。

当社は、このようなマーケットの新たな変化を先取り、すでに開発投資の規模を3年前より従来の2倍に増やしております。その結果、多くの新製品を継続的にマーケットに投入できるようになりました。中でも、特に注力してきた超小型スキャナ・モジュールは、現在、日本国内のシェア80%を達成しております。また、このモジュールは、国内・海外で販売している多くの製品に組み込まれ、当社の生産量を拡大しております。

その結果、当期2004年11月期において、前期比で連結売上高は24%増の84.87億円、連結経常利益は71%増の10.28億円と大幅増益を達成いたしました。

これは、当社の基本方針“製品力によって成長”が順調に推移しているものと考えております。

2005年2月

代表取締役社長 俵 政美

当社が提供している製品のご紹介



私たちの主力製品である自動認識装置は、業務をより効率化する製品としてレジやコンピュータといったトータルソリューションに欠かすことのできない端末機として多様な業界で使用されております。主な製品カテゴリーは日常見かける物がほとんどですが、「こんなことにも」と思うような使い方もされております。

● スキャナ

小売店、コンビニ等のレジで使用されております。



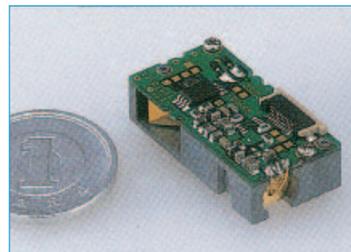
● ターミナル

物流、倉庫でのデータ入力等に使用されております。



● モジュール

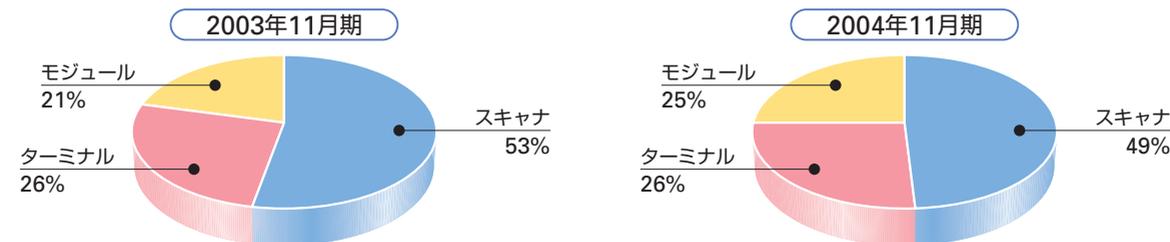
バーコード製品に必要な心臓部品です。当社は超小型化に成功いたしております。



製品カテゴリー別構成



私たちの売上高の製品カテゴリー別構成です。



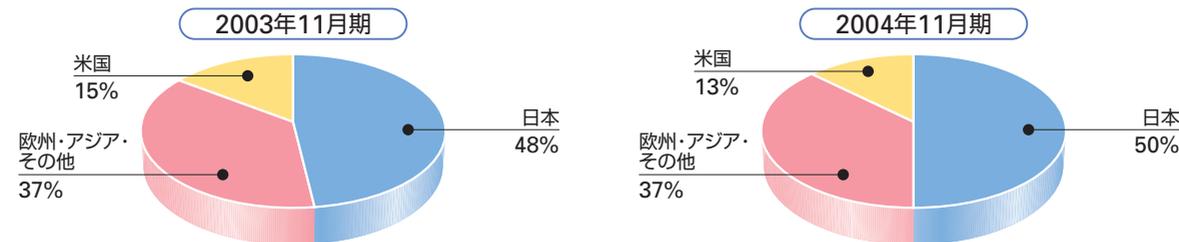
当期の連結ベースの売上増は、第3次開発計画の成果であるレーザモジュールエンジン「VLM-4000シリーズ」搭載のカテゴリー毎のラインアップ（製品群）を充実させたことによるものです。

国内、海外ともに高い評価を得ることができ、販売台数拡大につながり、過去最高の業績を達成することができました。またこのシリーズは前期に引き続き当期も好調に推移し売上増に貢献いたしました。

地域別売上高



私たちの製品は世界各地で使われております。



当期の業績は、国内、欧州（アジア含む）、米国の全地域でそれぞれ売上増となりました。現地通貨ベースの各地域別の売上高は、前期比国内30%増、欧州（アジア含む）21%増、米国14%増となり、安定して拡大しました。また、前期に引き続きまして、売上高の50%を海外の売上で構成しており、今後もお取引先からの要求を様々な製品づくりに役立て、世界シェアを伸ばしてまいります。



グッドデザイン賞を受賞

2003年・2004年2年連続して受賞しました。
当社では、6年前よりデザイン部門を強化し、その成果は、グッドデザイン賞を6年間で4回受賞する形で発揮されました。



2004年 OPL-9728

新たなマーケット

当社の2次元スキャナが飲料水の自動販売機に採用されました。
この新型の自動販売機は、現金を使わなくても、携帯電話をかざすだけで商品が買えるようにしたものです。



2次元スキャナ



職場の活気の向上 → 企業の成長

働く環境を見直し、大きく改善を進めております。働きやすい職場では、仕事の品質が向上すると考えているからです。一般的に、お客様が来られるロビー、応接室は立派にしますが、毎日働いている職場は狭く、乱雑になりがちです。それによって、精神的にストレスがたまり疲労がたまってくるものです。当社は実験的に職場の中をリフォームし、広く整頓された気持ちのいい環境にしたところ、ストレスが減り、集中力が増すなど、非常に良好な結果が得られております。すでに全ての床は無垢の木を敷き詰め、ドア、天井、壁なども木材や石といった自然の素材を使用しています。さらに、建物を広げ、2年以内に一人当たりのスペースを欧米と同等にする予定です。



連結財務諸表



■ 連結貸借対照表

科目	期別	
	当 期 2004年11月30日現在	前 期 2003年11月30日現在
(資産の部)		
流動資産	8,466	5,644
現金及び預金	3,681	1,656
受取手形及び売掛金	2,245	1,834
たな卸資産	2,162	1,906
その他流動資産	421	279
貸倒引当金	△43	△34
固定資産	2,553	2,434
有形固定資産	2,324	2,158
建物・構築物	735	621
機械装置・運搬具	71	46
工具器具・備品	380	268
土地	1,015	1,052
その他有形固定資産	120	168
無形固定資産	153	173
投資その他の資産	75	102
資産合計	11,020	8,078

(単位：百万円)

科目	期別	
	当 期 2004年11月30日現在	前 期 2003年11月30日現在
(負債の部)		
流動負債	4,462	3,843
支払手形及び買掛金	2,337	1,238
短期借入金	247	557
一年以内返済予定長期借入金	1,268	1,424
一年以内償還予定社債	48	48
その他流動負債	560	574
固定負債	2,616	2,113
社債	1,080	628
長期借入金	1,530	1,482
その他固定負債	5	2
負債合計	7,079	5,956
(資本の部)		
資本金	671	255
資本剰余金	677	57
利益剰余金	2,620	1,920
その他有価証券評価差額金	2	1
為替換算調整勘定	△31	△112
資本合計	3,940	2,121
負債及び資本合計	11,020	8,078

■ 連結損益計算書

科目	期別	
	当 期 2003年12月1日から 2004年11月30日まで	前 期 2002年12月1日から 2003年11月30日まで
(経常損益の部)		
売上高	8,487	6,868
売上原価	4,110	3,170
販売費及び一般管理費	3,192	2,961
営業利益	1,184	736
営業外収益	48	38
営業外費用	204	171
経常利益	1,028	602
(特別損益の部)		
特別利益	109	14
特別損失	38	45
税金等調整前当期純利益	1,099	571
法人税、住民税及び事業税	344	297
法人税等調整額	44	△47
当期純利益	710	320

(単位：百万円)

■ 連結剰余金計算書

科目	期別	
	当 期 2003年12月1日から 2004年11月30日まで	前 期 2002年12月1日から 2003年11月30日まで
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	57	57
増資による新株の発行	619	—
自己株式処分差益	0	—
資本剰余金期末残高	677	57
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	1,920	1,609
利益剰余金増加高	710	320
当期純利益	710	320
利益剰余金減少高	10	10
配当金	10	10
利益剰余金期末残高	2,620	1,920

(単位：百万円)

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	
	当 期 2003年12月1日から 2004年11月30日まで	前 期 2002年12月1日から 2003年11月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,571	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△644	△1,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	999	979
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	18
現金及び現金同等物の増加額	1,975	△235
現金及び現金同等物の期首残高	1,338	1,574
現金及び現金同等物の期末残高	3,314	1,338

(単位：百万円)

会社概要 (2004年11月30日現在)



● 商号	株式会社オプトエレクトロニクス OPTOELECTRONICS CO.,LTD.
● 設立	1976年12月
● 事業目的	自動認識装置の開発・製造・販売
● 本社	〒335-0002 埼玉県蕨市塚越5丁目5番3号
● 資本金	6億7,183万円
● 役員構成	代表取締役社長 依 政 美 取締役会長 志 村 則 彰 取締役副社長 神 尾 尚 秀 常勤監査役 西 岡 舜 一 監査役 大 徳 宏 教 監査役 田 中 洋 一
● 決算期	11月
● 主要取引銀行	東京三菱銀行 埼玉りそな銀行

ネットワーク



● 国内事業所・海外現地法人			
本社営業部	埼玉県蕨市	米 国	Opticon, Inc.
川口事業所	埼玉県川口市	オ ラ ン ダ	Opticon Sensors Europe B.V.
芦別工場	北海道芦別市	ド イ ツ	Opticon Sensoren GmbH
大阪営業所	大阪府大阪市西区	フ ラ ン ス	Opticon S.A.S.
		イ ギ リ ス	Opticon Ltd.
		イ タ リ ア	Opticon S.R.L.
		スウェーデン	Opticon Sensors Nordic AB
		オーストラリア	Opticon Sensors Pty.Ltd.
		台 湾	Opticon Far Eastern Ltd.

株式の状況 (2004年11月30日現在)



● 会社が発行する株式の総数	15,000,000株
● 発行済株式の総数	4,863,000株
● 株 主 数	2,538名

● 大 株 主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率
株 式 会 社 依 興 産	1,171 千株	24.1 %
依 政 美	930	19.1
依 公 子	191	3.9
志 村 則 彰	160	3.3
町 田 美 代 子	136	2.8
土 田 博 也	91	1.9
N V C C 1 号	78	1.6
投 資 事 業 組 合		
氏 家 和 子	70	1.4
村 山 晴 美	68	1.4
町 田 明 子	68	1.4

● 所有者別株式数分布状況

- 個人・その他……………3,005,400株
- 国内法人……………1,416,500株
- 金融機関・証券会社……………281,400株
- 外国法人・外国人……………159,700株

